



2018年度事業計画概要

2018年6月4日

特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構

2018年度の重点方針と重点実施項目

研究事業部

2018年度重点方針

➤HCD/UXD力を更に高める一環として、研究事業部では研究力の向上（論文執筆力、投稿数、SIG活動）を図ることを中心的目標として、投稿数の増加と論文執筆力の向上を図るための施策を実施するとともに、SIG活動の充実とSIG活動の成果の発信を積極的に行う。

2018年度の重点実施項目と目標

➤重点実施項目：

- メンター制度の試行，実施（目標：研究の内容は論文に値するものの，執筆力に欠けるために論文として掲載が叶わない論文に対して，執筆のサポートを行う制度を試行し，制度化を目指す）
- 論文執筆講座（調査編，実験編，レビュー編，事例編）
- J-stageへの登録申請を行う
- 各SIG活動のより一層の活性化を図るとともに、活動成果を研究発表会、機構誌のいずれかを通じて、定期的に発信する（年度中最低2回）
- 前年度同様研究発表会を年2回開催するとともに、年間発表件数を50件に増加させる（2017年度44件）。
- 機構誌を年2回発行するとともに、投稿論文数を10件(2017年度4件)に増加させる。

2018年度の重点方針と重点実施項目

SF映画SIG

2018年度重点方針

- ▶ 新たなアプローチ・分析対象の探求
 - ▶ テーマ分析方法の見直し
 - ▶ （これまでは映画を観て、その作品を深掘りするテーマを選出してきたが）“あるテーマを掲げ、それを基軸に、横断的にSF映画のシーンをピックアップする”アプローチでの取り組みにトライする
 - ▶ 過去の分析対象の再分析

2018年度の重点実施項目と目標

- ▶ 重点実施項目：
 - ▶ 成果の外部発信（上記分析テーマ毎）
 - ▶ 論文化

2018年度の重点方針と重点実施項目

感性SIG

2018年度重点方針

- 今後の活動方針の決定
- 感性に関する概念の整理

2018年度の重点実施項目と目標

- 例会開催2回
 - 概念の整理（今年度は「かわいい」と「UX」）
- かわいいについての学会発表1回

2018年度の重点方針と重点実施項目

社会基盤整備のための人間中心設計 SIG (社会基盤 SIG / SI-SIG)

2018年度重点方針

- 社会基盤整備のためのHCDの理論化を進める。
- 教育プログラムの概略を議論する。

2018年度の重点実施項目と目標

➤重点実施項目：

- 社会基盤整備のための**HCDの研究テーマの絞り込み**
- 土木工学科の**学生への教育プログラムの骨子**の確定

➤目標 (アウトプット)

- **勉強会** (ゼミ形式、4回) -- ウェブ会議システム
- **研究会** (外部講師、1回) -- 集まって開催. HCDサロンとして開催するか.
- HCD研究会等での**口頭発表及び論文投稿 (4本)**

➤目標 (アウトカム)

- 研究における社会基盤HCDの定義が明確となる.
- 土木分野におけるHCD教育の課題が明らかになる.

研究事業部 2018年度事業計画

事業部長：辛島

メンバー：伊藤(理事)，郷，高橋(関西)，佐藤(関西)，中内(関西)，飯塚

重点	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標値	結果
	1. 研究発表会			◆ HCD研究発表会						◆ HCD研究発表会				年間発表数50件 参加者150名	
	2. 機構誌発行			◆										論文3編	
	3. 編集委員会			◆ 論文賞選考			◆			◆			◆	年4回対面開催	
	4. メンター制度の試行					←————→									
	5. J-stage登録準備				←————→										
	6. SIG活動														
	感性SIG														
	SF-SIG														
	社会基盤SIG														
期初(課題 → 対応策:上記施策の番号) 論文執筆力，投稿数の向上→メンター制度，J-stage登録；4,5 SIG活動の活性化→年2回以上のSIG活動報告の義務化（研究発表会、機構誌）：1,2							中間				年度末				

SF映画SIG 2018年度事業計画

主査：飯塚

メンバー：安藤、飯尾、江崎、大橋、小原、金子、佐藤公、高森、永井、長谷川、松原、森山、山浦(14名)

重点	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標	
◎	1. 定例SIG会		◆			◆		◆		◆		◆			
	2. 映像視聴			→				→							
	過去の分析対象再分析	→													
○	3. テーマ毎の分析	→													
△	4. 成果の論文化	→									◆				
										HCD研究発表会					
期初（課題 → 対応策：上記施策の番号）							中間				年度末				
特になし															

感性SIG 2018年度事業計画

主査:橋爪
 メンバー: 芦村、飯塚、池本、伊藤、宇津木、岡本、香川、辛島、木曾、小山、小暮、黒須、佐藤、重村、清水、高久、竹尾、寺内、徳生、富崎、早川、八丁、堀内、松原、松山、丸谷、吉田、渡辺 (29名)

重点	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標値	結果		
	1. 定例SIG会				◆						◆						
○	2. 活動方針の決定	→															
◎	3. 感性に関する概念の整理	→															
	4. 学会発表				◆												
期初(課題 → 対応策: 上記施策の番号)							中間					年度末					

社会基盤SIG 2018年度事業計画

主査：山田菊子
 メンバー：相沢直人、飯塚重善、岡村美好、小山田那由他、河原誠、嶋田千加子、瀬尾弘美、秀島栄三

重点	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標
◎	1. 勉強会		◆		◆				◆		◆			<ul style="list-style-type: none"> メンバーの知見を共有する。 開催回数を増やす。
	2. 研究会						◆							
○	3. 社会基盤, HCD領域 文献, 事例の収集, 分析	→											<ul style="list-style-type: none"> 研究対象の領域を定義する 関連研究を共有する。 	
◎	4. 土木分野での教育 メンバーの基礎知識の獲得 教育プログラムの骨子検討	→											<ul style="list-style-type: none"> 土木分野の教育において実施する教育の特色を明確にする。 	
	5. 口頭発表, 論文発表		◆	◆			◆		◆	◆				
期初 (課題 → 対応策: 上記施策の番号) ・教育プログラムに関する知見の不足 → 教育事業部との連携: 1、2、4 ・地方在住者が多く集まりにくい → ネットミーティングの利用: 1、4 ・学術研究の実績がない → 論文発表の促進: 1、2、5							中間					年度末		

2018年度の重点方針と重点実施項目

教育事業部

2018年度重点方針

- HCDの基本についての体系的セミナー実施
 - UXデザインについて体系的に学べるセミナー（名古屋）
 - HCD専門家を目指す人、及び専門家の学び直しのためのコンピタンス発揮のために必要な知識に関するセミナー（東京）
- HCD初心者への普及・啓発活動
 - HCD初心者向けセミナー
 - HCD初心者向けのセミナーの雛形作成

2018年度の重点実施項目と目標

- 重点実施項目：
 - UXデザイン・シリーズセミナー実施（目標：1シリーズ）
 - コンピタンス解説セミナー実施（目標：昨年度+1コンピタンス）
 - 賛助会員と協働した初心者向けセミナー実施（目標：3件）

教育事業部 2018年度事業計画

事業部長：和井田

メンバー：加藤、春原、小江、茂木、安、遠藤、山岸

重点	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標
◎	1. コンピタンス知識編セミナー (東京)			◆ 成果物の 評価		◆ 情報構造 の設計		◆ ユーザー 調査						3回開催
◎	2. UXDセミナー (名古屋)		◆ プレ		◆ 1 ◆ 2	◆ 3	◆ 4		◆ 5					1シリーズ開催
◎	3. 初心者向けイベント (東京)		◆ ↑		◆ 協働 1	◆ 協働 2	◆ 協働 3	◆ ↑						協働3回開催
◎	4. 初心者セミナー雛形 (講師拡大WG)		◆ ver,1.0	◆ 研究発表 表会				◆ 顧客接点 の人向け		◆ 研究発表 表会		◆ 見直し		
○	5. 普及・啓発実践者交流				◆								◆	
期初 (課題 → 対応策：上記施策の番号) ・賛助会員と協働のしかた → セミナー企画への参画 会員企業からもコンテンツ							中間				年度末			

2018年度の重点方針と重点実施項目

広報社会化事業部

2018年度重点方針

- HCD-Net リブランディングとメディア戦略の見直し
 - HCD-Netの伝えるメッセージ、メディアの最適な活用を整理し、
これからのHCD-Net全体のメディア戦略をアップデートする
- HCD-Netサロンによって、新しいHCDの可能性と社会との接点を探索する

2018年度の重点実施項目と目標

- HCD-Netリブランディング（～2018/12）
 - 各事業部既存メディア利用状況の棚卸し
 - ステイクホルダーのHCD-Net認知調査
 - コミュニケーション方針策定
 - コンテンツ&チャネル計画策定
- HCD-Netサロン
 - 6回の開催を予定
- 広報マテリアルのアップデート
 - アニュアルレポート、カタログのアップデート

広報社会化事業部 2018年度事業計画

事業部長：長谷川
 メンバー：山崎、松原、黒沢、水本、相馬、斉藤、在家、羽山、丸谷、佐伯、柄、堀口、諸岡、常盤、柴田、尾崎、飯塚、松田、石橋、竹内

重点	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標	
◎	1. HCD-Netリブランディング		◆ 既存コンテンツ &チャンネル分析	◆ ステイクホルダー インタビュー		◆ コミュニケーション 方針策定		◆ コンテンツ開発	◆ シナリオ定義	◆ コンテンツ& チャンネル定義		◆ 改善実施		12月までに戦略策定	
◎	2. HCD-Netサロン					◆ サロン	◆ サロン	◆ サロン	◆ サロン	◆ サロン	◆ サロン			6回開催	
◎	3. 広報マテリアルアップデート											◆ 実施			
○	4. Webサイト改善 (Web WG)			◆ 開始	→									ユーザビリティ 改善、最適化	
期初 (課題 → 対応策：上記施策の番号)							中間					年度末			

2018年度の重点方針と重点実施項目

関西支部

重点方針

➤HCD/UXDの実践数を増やすため、知識や手法などの講座を開催するとともに、経験を積むことができるセミナーを開催する。また、裾野を広げるため地方や他団体において基礎講座を開催する。

重点実施項目と目標

➤重点実施項目：

□ 知識・手法

- 人間中心設計基礎講座の開催（5回程度の連続講座を予定）
- 人間工学などのベースとなる知識の講座（2回程度）

□ 経験

- 関西フォーラム（1回：8月または9月）
- 事例発表会（1回：12月）
- 様々な職業の人と語る会（3回程度）
- HCD-Netナイト（1回：学会開催に合わせて実施）

2018年度 関西支部事業計画

関西支部		支部長：水本 徹 副支部長：高橋 美治 メンバー：前田 哲哉(事務局長)、小林 拓也、中内 淑文、井登 友一、福武 徹													
重点	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標値	結果
◎	<input type="checkbox"/> 知識・手法 人間中心設計基礎講座				←★講座		★講座		★講座		★講座		★講座		
	○ 基礎知識講座		★講座					★講座							
◎	<input type="checkbox"/> 経験 関西フォーラム						★関西フォーラム								
◎	事例発表会										★事例発表会				
○	様々な職業の人と語る会 HCD-Netナイト			★セミナー				(★セミナー)				(★セミナー)			
	<input type="checkbox"/> 裾野拡大 人間中心設計基礎講座				[★講座]	[★講座]									
							() は無料開催 [] は一般募集なし								
＜課題と対応策＞							中間					年度末			

2018年度の重点方針と重点実施項目

専門資格認定センター

2018年度重点方針

- 認定専門家（第10期）、認定スペシャリスト（第6期）の試験制度の維持向上
- HCD基礎スキル認定制度の立ち上げ
- 専門家・スペシャリストスキル向上のため、コンピタンスの理解促進
- 潜在専門家・スペシャリストとの交流コミュニケーションの場を構築

2018年度の重点実施項目と目標

➤ 重点実施項目：

- 認定機関としての独立性、公正性のアピールできる組織体制を目指す
- 認定者のコミュニケーション活性化や認定時に未取得のコンピタンス獲得の再教育などにより、認定者のさらなる専門性アップや地位向上に貢献する
- 受験者負担軽減のシステム見直し継続
- 資格更新フォーマットの運営見直しなど

専門資格認定センター 2018年度事業計画

センター長：篠原
副センター長：伊藤、吉武、和井田

重点	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標値	結果	
	認定専門家・スペシャリスト 資格認定				← 認定要綱作成 →					告知		審査資料締切	審査	認定結果発表		
	検定試験（3級相当）			← 検定要綱立案 →					告知	検定	審査	検定結果発表				
	専門家ワークショップ/交流会				開催	開催		開催		開催		開催		開催		
								中間					年度末			

2018年度の重点方針と重点実施項目

ビジネス支援事業部

2018年度重点方針

▶各委員会の活動を通じてHCD専門家の活動を支えてゆく

2018年度の重点実施項目と目標

▶重点実施項目：

- 運営委員会
 - 活動方針検討、活動内容の確認
 - 開発系諸団体との交流を図り、セミナー開催の運営を担う
- 経営層向け支援委員会
 - 企業・団体へHCD活動を啓蒙するシナリオ作成と遂行を行う
 - 独立系コンサルタントと連携してベンチャー企業を支援することをねらう
- 中間層向け（+現場向け）支援委員会
 - 制作中の小冊子（β版）を企業の中間層と情報交換の上で完成させる
- 関連団体向け支援委員会（今年度休止）
- 利用品質メトリクス委員会
 - 談話会 年3回
 - メトリクスワークショップ ①入門編（問題抽出） ②メトリクス抽出
 - 東海大学 辛島研究室との連携

ビジネス支援事業部 2018年度事業計画

事業部長：篠原
 運営委員会メンバー：今井, 鱗原, 月田, 早川, 森山
 活動メンバー：HCD-Net Webサイトに掲載
<https://www.hcdnet.org/organization/organization/hcd-975.html>

重点	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標値	結果
◎	運営委員会 (開発系諸団体向けセミナー運営含む)			委員会	セミナー			委員会				委員会	セミナー		
	経営層向け支援委員会			委員会		委員会		委員会		委員会		委員会		経営層へのHCD 活動啓蒙への シナリオ完成	
	中間層向け (+現場向け) 支援委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	中間層向け冊子の 完成	
	◎ 利用品質メトリクス委員会		委員会	委員会	委員会		委員会	委員会		委員会	委員会	委員会		初心者への理解 促進するツール整備	
							イベント								
							談話会								
							メトリクス ワークショップ								
							東海大学 辛島研究室と連携								

<p><課題と対応策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営協力者、参加者の増員 ・広報の充実へ 	中間	年度末
--	----	-----